



# 愛知陸協広報

第48号

令和元年7月31日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0015 名古屋市中区大井町3-15 日重ビル 2F

電話 (052) 684-7498 ファックス (052) 684-7499

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>



## 新年度を迎えて

会長 稲垣 隆司

新年度を迎え、一言ご挨拶申し上げます。

協会会員の皆様方には日頃から県内各地で開催されます各種陸上競技大会の運営や公正かつ厳正な審判、さらには次代を担う選手の育成・指導等に多大なるご尽力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げますとともに、敬意を表する次第であります。

今年度も例年と同様、愛知陸上競技選手権大会や愛知県市町村対抗駅伝大会、全日本大学駅伝対校選手権大会、読売犬山ハーフマラソン、マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2020等のほか、昨年に引き続き都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競走大会等が開催されます。協会会員の皆様方にはそれぞれの大会運営に当たり大変お世話になりますが、よろしく申し上げます。

さて、2020年7月24日から8月9日まで開催されます東京オリンピックもあと1年となり、新国立競技場はじめ各種競技場の整備も着々と進んでおります。また、去る6月27日から30日まで福岡市博多の森陸上競技場で開催されました第103回日本陸上競技選手権大会では、サニブラウン選手をはじめ日本のトップアスリートたちがオリンピックをはじめとした世界の大会でも十分活躍できる記録を打ち立てるなど、陸上競技に対する国民の方々の関心と期待が非常に高まり、我々陸上競技関係者にとりましても大変喜ばしい限りであります。

愛知陸上競技協会におきましても引き続き、皆様方と力を合わせ日本陸上界をリードする多くの選手の育成・指導に努め、陸上界発展のために努めてまいります。

また、本年度は2026年に愛知・名古屋で開催されるアジア大会のメイン会場となりますパロマ瑞穂スタジアムの基本的な整備方針も決定し、整備が着実に進められることとなっております。

皆様方には、本年度も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 快挙!名大勢日本選手権W入賞(400mH)

6月末に行なわれた日本選手権において、名大の2人が400mHで5位、6位とアベック入賞を果たしました。5位は大学院修士課程2年の小田将矢さんで、49.60の自己新記録。6位は医学部5年の真野悠太郎さんで、昨年の7位に続く2年連続の入賞でした。朝日新聞は、「同じ国立大陸上部所属から2選手がトラック競技の決勝に残ったのは男女を通じてこの種目だけ。体育専門学群がある筑波大をのぞけば、異例だ」と記しています。1学年違いの2人は、ともに江南市の滝中、滝高と進み、現役で名大入学。大学では小田さんが力学的な動きを、真野さんが人体の構造を担当し、お互いに補い合いながら記録を伸ばしてきました。中学校での出会いから11年を経て、深い絆が実を結んだ結果です。

小田さんは「バイオマスのガス化」をテーマに環境問題に取り組み、実験が徹夜になることもあると言います。また真野さんは、循環器内科の医師をめざして現場での実習を重ねる日々。文武両道の2人の入賞は大いに讃えられるべきものです。東京五輪をめざす2人の今後、更に期待が集まります。(朝日新聞7/4)



小田さん(右)と真野さん

## 専門委員会報告

### 総務委員会

令和元年度評議員・役員改選に伴い、次の方々が選任されましたのでお知らせします。(新役員)

- ・評議員 小椋 征弘 小島 末廣 杉山 裕二  
坂井田醇三 植田 准次 小川真一郎  
柴田 和秀 林 一哉 木村 元彦  
夏目 輝久 仲井 雅弘 鈴木 政男  
岡田 武彦 安藤 好郎 樋高 勇二
- ・会長 稲垣 隆司
- ・副会長 外山 幸男 梅村 清英
- ・専務理事 稲垣 裕
- ・常務理事  
水野 隆夫(総務) 青木 実(施設用器具)  
榊原 茂(競技)
- ・理事  
櫻井 一美(審判) 石鎚 一則(記録・情報)  
明星 光信(強化) 新見 精三(年誌・広報)  
蟹江 勇(財務) 水野 久(総務副)  
小田垣充雅(強化副) 北村 肇(財務副)  
中田 有紀(学識) 谷寄 好美(女性代表)  
青山 充資(尾張理事長) 砂子間英明(名古屋理事長)  
太田 一弘(西三河理事長) 兵藤 重二(東三河理事長)  
石井 哲郎(高体連) 佐橋 弘晃(中体連)  
黒須 雅弘(東海学連) 下川 勝彦(マスターズ)
- ・監事 若松 良一 永田 敏也

#### ◇活動計画

- (1) 各委員会に属さない事項(各大会の関係機関への連絡・申請等)、および諸会議、表彰(褒賞・栄章等)についての対応を行ないます。
- (2) 各委員会の連絡調整を行ないます。
- (3) 各大会の運営について、各委員会との連絡を密にし、万全を期します。
- (4) 経費削減を呼びかけます。
- (5) 年鑑の作成を行ないます。
- (6) 登録関係
  - ①登録要項の作成、登録者数(団体・個人)の集約と整理を行ないます。
  - ②昨年度、二重登録についてのガイドラインをまとめました。  
今年度、3年前に一新した登録番号について見直しを踏まえて検討を行ないます。

◎昨年に引き続き、過去5年間の登録者数を掲載します。

#### 登録者数の推移

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一般	3,788	3,926	4,067	4,198	4,403
大学生	1,193	1,155	1,115	1,027	1,320
高校生	7,654	7,724	7,871	7,860	7,849
中学生	8,201	8,134	8,520	8,332	8,607
合計	20,836	20,939	21,573	21,417	22,179

(水野 隆夫)

### 競技委員会

2019年度の競技会も前半が終わり、この夏休みに全国大会が行なわれようとしています。愛知でも秋のトラック&フィールド、愛知駅伝、読売犬山ハーフマラソン、名古屋ウィメンズマラソンへと例年どおり進め、穂の国豊橋ハーフマラソンで締めくくります。

今後多くの審判員の方の協力を得て、無事2019年度の競技を終えたいと思います。

2026年のアジア大会を前に、パロマ瑞穂スタジアムが改築されます。その間競技場が使えないため、競技会のあり方を考えなくてはなりません。また、1年を通して競技会のあり方、各大会の競技種目や、競技内容などいろいろお考えがあると思います。是非、無理のない競技会運営のためにご意見をいただきたいと思ひます。

競技運営や準備などへのご協力よろしくお願ひいたします。(榊原 茂)

### 施設・用器具委員会

○第1回委員会 2019年4月26日(金) 18:30 陸協事務局  
出席者:青木、平川、砂子間、中村、名倉、八田、延永、柴田、飯田、田中、脇田、澤辺、藤城、櫻井(審判委員長)、永井、三浦、伊藤、鈴木雄  
(以上18名、敬称略)

#### 1 2019年度施設用器具委員会組織

- 委員長 青木 実(JAAF検定員)  
副委員長 平川 貴之(JAAF技術役員・AIMS国内C級自転車計測員)  
南 康次郎(JAAF技術役員)[瑞穂]  
砂子間英明 松井 祐二[一宮]  
上田 裕貴[豊田] 中村 昭広[豊橋]  
委員 三輪 栄二 名倉喜三郎[知多]  
延永 保二 八田 定丸[半田]  
谷口 直土 浅井 正久  
吉越 明 田中 輝彦  
脇田 千鶴 秦 聖喜  
飯田日出男 柴田 卓也[春日井]  
藤城 豊 澤辺 泉二[刈谷]  
太田 貢[安城] 山本 浩司[龍北(岡崎)]  
三浦 守道[蒲郡] 伊藤 朝一[白谷(田原)]  
永井 祥也[豊川] 青戸 慎治[中京大]  
今井 美希[至学館大]([ ]は担当競技場)  
特別委員 桑原 義貴(AIMS国際B級自転車計測員)

#### 2 2019年度ルールの修正について

- ①レーン・助走路幅は、1m220に統一(2020年度から完全移行)
- ②公認料・器具検定料の変更(室内暫定的施設および屋外種目別競技場については減額、全て税抜き表示)
- ③マーキングの一部変更(300m競走のスタートライン追加、4×100mRのSL“ブルーライン”・800m競走以下の集合線削除など)
- ④300mHの公認種目化とマーキング方法
- ⑤長距離競走路設置に対する指導事項の明文化
- ⑥室内競技場の公認基準見直しと安全性の確保
- ⑦屋外種目別競技場の公認基準見直しと安全性の確保
- ⑧投てき可能な人工芝のガイドラインを設定

## クラブ紹介④ SQUAD TAKUYA (STランニングスクール)

STランニングスクールは、岡崎市を拠点とし愛知県西三河地区で活動する、小学生・中学生対象の長距離専門のランニングクラブチームです。有志の集まりで発足し創設10年になります。現在のクラブ生徒数は、約130名で岡崎市・幸田町・西尾市と3拠点でスクールレッスンを開校しております。



合宿の様子



全国クロスカントリーリレー研修大会メンバー

コーチ陣は、チーム代表の元トライアスロン日本チャンピオンの柴田卓也が総指揮をとりながら、昨年念願の小学生駅伝愛知県代表として全国大会に出場するまで選手コースの生徒を育てあげた宮沢基寛、通常スクールで速く走れるようになるためのメニューやランニングの楽しさを伝え続けている井野雄介の3名で運営しております。

マラソン（長距離）は、苦しいイメージや苦手な子が多いのが現状です。スクールではそんな苦手意識を吹き飛ばして長距離走を克服し走ることが楽しいと感じ、どんなスポーツにもスムーズに入っていける持久力を身につけてほしいという思いを込めて活動しております。

スクールの形態としては、ハイレベルで各大会の上位をめざす【選手コース】と、体力強化・ランニングフォームを改善するなど走ることの楽しさを知って得意になっても

らう【通常スクール】があります。

### 【選手コース】

各々の種目に応じた練習を主体に、身体づくり・持久力強化・スピード強化を短い時間帯に集中してバランスよく練習を行なっています。また春・夏・冬と年4回の高地合宿やクロカン合宿で仲間意識を高め切磋琢磨しながらレベルを上げています。

### 【通常スクール】

第一に“楽しく走ろう”をモットーに、基礎体力の向上をめざし体幹トレーニングや縄跳び、スクール独自のルールを取り入れた鬼ごっこなども行なっております。速く走るために必要なカラダの動き作りのためにSTオリジナルのドリル練習を発案し、練習時に取り入れております。始めはぎこちない子もすぐに慣れ、走るフォームが見違えるほどキレイになります。

合宿も選手コースと同様に行ないます。合宿を通じて仲間をつくったり、上級生が下級生の面倒を見る楽しさを知ったりと社会性を身につけていくようにしています。

お子様の健康で健やかな身体や、走ることが大好きで尚かつキレイなフォームで走れる姿を作るために是非STランニングスクールをご活用ください。スクール体験は随時行なっておりますので、お気軽にお問合せください。

(柴田 卓也)

### 【連絡先】STランニングスクール

岡崎市欠町下口 31-1 0564-26-3080

info@squad-takuya.jp

※最終条文につきましては、伝達講習会の資料ならびに最新のルールブックで確認してください。

### 3 2019年度競技場・競走路の検定予定

- ①中京大学室内競技場（直送路）[新設]
- ②パロマ瑞穂スタジアム（300mH）[一部]
- ③犬山ハーフマラソン（ハーフ・10キロ）[継続]
- ④知多陸上競技場付設競歩路（5・10・20キロ）[新設]

※その他、仮称龍北〔旧県営岡崎〕（2020年オープン予定）、春日井〔朝宮公園内〕（2022年オープンに向けて設計中）、美浜（協議中）で、新設の競技場建設計画が進められています。

### 4 各競技場担当者からの意見

出席者からの意見や問題点（項目のみ）

- ・全天候舗装の管理について
  - ・芝生の管理方法とサッカーとの関わりについて
  - ・テイクオーバーゾーン30m化への対応について
  - ・投てき（ハンマー投、円盤投）練習について
  - ・精密機械の取り扱いについて
  - ・古くなった機種を更新について
  - ・使用した器具の整理整頓と後片付けについて
  - ・ナイター設備の照度アップについて
  - ・場内アナウンスの音量と近隣への配慮について
  - ・用器具担当役員の育成と審判員の配置について
  - ・瑞穂改修期間中の元旦競歩大会代替開催地について
- ※競歩大会開催地の条件として、

- ①競技場発着であること
- ②平坦な道路であること
- ③1km程度の距離があること
- ④比較的交通量が少ないこと
- ⑤風の影響が少ないこと
- ⑥名古屋駅からアクセスが良く駅近であること
- ⑦ロード競技運営の実績があること

### 5 2018年度日本陸連主催諸会議議参加報告

※検定を行なうのに必要な資格を有する為の研修会が、陸連主催で2年毎に開催されております。その会の模様が『陸連時報』に詳細な記事として掲載されておりますので、興味がありましたら検索してみてください。

- ①検定会議（派遣出席者：青木）
- ②自転車計測員会議（派遣出席者：桑原、平川）
- ③A級・B級自転車計測員会議（派遣出席者：桑原）

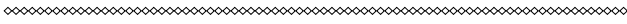
陸連時報

検索

\*\*\*\*\* 施設用器具委員会からのお願い \*\*\*\*\*

全ての競技役員の皆様へ、各地区陸協が主催・または共催する大会等で使用した施設・器具・備品に故障もしくは不具合が生じた時は、直接管理事務所に連絡するのではなく、先ず各競技場の担当者（瑞穂の場合は、委員長か副委員長）に報告していただきますようよろしくお願いいたします

します。



(平川 貴之)

### 審判委員会

2019年度が始まりました。昨年度と同様に、本年度も皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

審判員確保を2018年度の重点課題としました「2019名古屋ウィメンズマラソン」も、皆様のご協力により、ほぼ予定数の審判員を確保することができました。レースは途中から雨が降り出し、雨中の大会となりました。悪条件下での開催となりましたが、審判員の皆様方には例年どおりの活動を最後まで行なっていただき、無事に終了することができました。紙面をもって、厚くお礼申し上げます。

今年度、新たに審判交通費の検討を始めました。市町村合併による一部の都市面積の拡大、鉄道の新線建設、並びに路線延長、また、近く予想される鉄道料金の値上げ等が主な理由です。現在二つの案で検討を進めています。第1案は、現状どおり居住市町村を単位とした交通費の支給です。第2案は、個々の審判員の最寄り駅からの交通費の支給です。第2案を検討するにあたり、審判員の皆様の最寄り駅を調査することといたしました。大会の委嘱状とともに「最寄り駅調査」のための用紙を同封いたします。大会に出席の際は、お手数ですが役員係までご提出ください。今後も財政面、役員係の仕事量の増加など、多くの困難な課題が予想されます。今年度中に、検討を重ね、改善を図りたいと考えています。

今年度の前期B級審判資格取得講習会を、5月6日(月・祝)にパロマ瑞穂スタジアムにおいて実施しました。昨年度より10名少ない、男性19名、女性9名、合計28名の方が受講されました。講師は稲垣 裕(総括)・櫻井一美(トラック)・榊原 茂(フィールド)の3名が担当しました。最後に実施した資格取得試験では、受講者全員が合格しました。来年4月より、新たなB級審判員として競技運営に携わっていただきます。なお、今年度につきましては、研修審判員として、小学生リレー大会から参加していただくことが可能となります。審判員の皆様におかれましては、競技運営に加え、研修審判員のご指導をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、審判委員会の今年度の重点課題は、昨年度と同様、「名古屋ウィメンズマラソン2020」の審判員確保となります。各審判員の皆様におかれましては、委員会の重点課題をご理解いただき、一人でも多くの審判員確保にご協力くださるよう、お願い申し上げます。お近くの審判員の方に「名古屋ウィメンズマラソン2020」への協力のお声掛けをいただければ幸いです。(櫻井 一美)

### 選手強化委員会

#### 2019年度 選手強化委員会 各種行事

平成から令和に時代は変わり、選手強化委員も心新たに頑張っ参ります。本年度選手強化委員会の行事は下記のとおりです。本年度も国体の開催時期が県高校新人と近いため国体を優先させていただきます。関係チームにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

#### <派遣事業>

行事名	期 日	派 遣 日 程	場 所
国民体育大会	10月4日(金)～8日(火)	10月2日(水)～8日(火)	6泊7日 茨城県
ジュニアオリンピック	10月11日(金)～13日(日)	10月10日(木)～13日(日)	3泊4日 神奈川県
日本陸上競技選手権リレー競技大会	10月26日(土)・27日(日)	10月25日(金)～27日(日)	2泊3日 福岡県
都道府県女子駅伝	1月12日(日)	1月9日(木)～12日(日)	3泊4日 京都府
都道府県男子駅伝	1月19日(日)	1月17日(金)～20日(月)	3泊4日 広島県

#### <競技会>

競技会名	期 日	場 所
国体選考強化普及競技会	4月20日(土)～4月21日(日)	瑞穂
国体選手選考少年の部	6月30日(日)	瑞穂
駅伝強化豊川長距離競技会	9月16日(月・祝)	豊川
第1回駅伝強化長距離競技会	10月13日(日)	瑞穂北
第2回駅伝強化長距離競技会	11月9日(土)	瑞穂北
投擲競技会	10月13日(日)	瑞穂北
競歩競技会	2月24日(月・祝)	瑞穂北

#### <強化行事・合宿・練習会>

行事名	期 日	場 所	備 考
国体選手合宿①	8月26日(月)・27日(火)	1泊2日 一宮	
同②	9月21日(土)	1日 一宮	
国体選手練習会	9月29日(日)	1日 瑞穂	ミーティング中心
駅伝夏合宿	8月25日(日)～27日(火)	2泊3日 富士見	
都道府県駅伝合宿①	12月25日(水)～28日(土)	3泊4日 瑞穂北レクリエーション広場	
同②	1月4日(土)・5日(日)	1泊2日 瑞穂北	
国体強化指定選手練習会①	12月21日(土)・22日(日)	1泊2日 知多	投擲
同②	12月21日(土)・22日(日)	1泊2日 内海半田	短・中・跳・障・歩
同③	12月25日(水)～28日(土)	3泊4日 瑞穂北レクリエーション広場	長距離
同④	1月12日(日)	1日 知多	投擲
同⑤	1月25日(土)	1日 知多	投擲
同⑥	1月26日(日)	1日 豊川	短・中・跳・障・歩
同⑦	2月8日(土)	1日 知多	投擲

同⑧	2月9日(日)	1日	瑞穂	短・中・跳・障・歩
同⑨	2月22日(土)	1日	知多	投擲
同⑩	2月29日(土)	1日	瑞穂北	短・中・跳・障・歩
ジュニア部練習会①	1月19日(日)	1日	豊川	
同②	2月11日(火・祝)	1日	瑞穂北	ジュニア部中学生のみ
同③	2月15日(土)	1日	半田	ジュニア部小学生のみ
同④	3月8日(日)	1日	半田	ジュニア部小学生のみ
同⑤	3月14日・15日・21日・22日 いずれか 未定	1日	瑞穂	ジュニア部中学生のみ
全国小学生陸上	8月9日(金)・10日(土)	1泊2日	横浜(神奈川)	全国大会の引率指導
全日中参加者練習会	8月10日(土)	1日	瑞穂	
国体選手リレー練習会	9月中旬	2回	瑞穂北等	国体選手のリレー練習
ジュニアオリンピック練習会	9月29日(日)はじめ4回程度	4回程度	知多等	JO選手のリレー練習
競歩教室	各月1回開催	9回	瑞穂周辺	12・1・2月は除く

<指導者養成>

事業名	概要
日本スポーツ協会公認コーチ派遣	橋本絵理香(名古屋市立田光中) 仲田 優也(名古屋市立振甫中) 【中体連として】 三尾麻由美(名古屋市立長良中)
医事部トレーナー研修会	8月下旬 3泊4日 日間賀島

<会議関係>

回数	選手強化委員会	駅伝部強化委員会	ジュニア部強化委員会	幹事会
1	4月21日(日)	7月上旬	9月上旬	4月21日(日)
2	7月15日(祝)	11月上旬	11月下旬	8月上旬
3	8月上旬	2月上旬	12月中旬	11月下旬
4	11月下旬		3月下旬	
5	2月29日(土)			

(明星 光信)

記録・情報処理委員会

愛知県新記録

(2019.1.1～6.30までに確認できた記録です)

男子

1500m 3.41.34 田中 秀幸(トヨタ自動車)  
[第271回日本体育大学長距離競技会(日体大健志台) 6/1]  
走幅跳 7.93 南 晋太郎(健康づくり振興事業団)

[第2回梅村学園陸上競技大会(中京大学梅村) 4/13]  
《東海高校新記録・愛知高校新記録》  
男子

4×100mR 40.12 中京大中京高  
(竹内大和・富田大智・神谷翔矢・河田航典)  
[愛知選手権リレー(瑞穂) 6/29]

《中学新記録》

男子

300m 36.73 池田 駿大(春日井中部中)  
[名古屋地区プレシーズンゲーム(瑞穂) 3/21]

女子

300m 41.64 青山 理奈(御幸山中)  
[名古屋地区プレシーズンゲーム(瑞穂) 3/21]  
円盤投 33.86 伊藤 圭菜(TSM)  
(1kg) [奈良市陸上記録会(鴻池) 4/21]  
(石鎚 一則)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

2019年度に向けて3月21日と23日に瑞穂グラウンドで審判伝達講習会を開催、ルールの改正点について講習を受けました。

伝達講習会の出席回数が不足し、審判昇格ができない方がいますので、講習会に出席しやすいよう、1回目はプレシーズンゲーム後に、2回目は地区総会後に実施し、約80名の審判員が受講しました。



審判伝達講習会風景

2019年度は2年毎の地区役員改選の年に当たります。各担当と監事の4名の役員が交代致しましたが、それ以外の役員は留任し、坂井田会長の下、地区陸協の運営に当たります。

競技会は4月6・7日の瑞穂でのクラス別競技会からトラックシーズンに入りました。4月7日には2018年度の成果を対象とした名古屋地区陸上競技協会表彰式を行ないました。受賞者は以下の方々です。



表彰受賞者

- 優秀選手賞
  - 一般・大学生：高橋 流星(愛知製鋼)
  - 高校生：中野 裕仁(名城大附属高)  
細井 裕菜(中京大中京高)  
安達 楓恋(中京大中京高)
  - 中学生：高橋 遼将(TSM)  
青山 理奈(御幸山中)
  - 小学生：水野 賢仁(なごや陸上クラブ)  
中村 文香(TSM)
- 優秀指導者賞：岩崎 万知(中京大中京高校陸上部コーチ)  
渡辺 幸太(守山西中学校陸上部顧問)
- 優秀審判員賞：森浦 朗(栄徳高校陸上部監督)

2018年度の登録者数は約11,000名で、毎年増加の傾向にあります。2019年度は地区として22の主催事業と20

## 学校訪問③⑧ 名古屋西高等学校 昨年度東海高校総体1600mR優勝

今回は、昨年度の東海高校総体において4×400mR優勝(3.15.69)、4×100mR4位(全国総体準決勝進出→予選タイム40.77)、U18日本選手権でも梅谷太紀選手が走幅跳で5位入賞(7m37)と活躍している名古屋西高校を総体の名古屋地区予選が終わった後の連休中に訪問しました。

今回の取材は新鮮な驚きに満ちたものとなりました。その一端として、練習メニューの第一部を紹介しましょう。それは、①三点倒立 ②側転 ③四股踏み ④段差で片脚立ち ⑤肩車 の5種目でした。ウォーミングアップの一般的な形は、ジョギングでグラウンド2周→体操・ストレッチといったところだと思うのですが、そうした形を取ることなく、練習は①から始まりました。「何だろうこれは」と思ったのですが、トレーニングが続いていく中での後藤賢二先生の発言から私の理解は進んで行きました。①から⑤は一本の太い線で繋がっているのです。三点倒立は体の中央を走る「軸」が真っ直ぐでなくてはバランスよく立つことができません。側転も「軸」が真っ直ぐでないときれいな回転になりません。四股踏みも片脚立ちも肩車も「軸」を意識させる練習です。肩車においては軸がしっかりしていない場合には、乗る側の選手が少々怖れを感じていたようです。後藤先生は「体の中心に針金のような軸があることを意識しなさい」と言っておられました。①～⑤までそれぞれにおいて「軸」を意識した後に、必ず流しが一本入ってありました。軸の意識を実際の走りに結びつけるという考えからだったのでしょうか。また、軸が意識されていない中で何本走ってもその走りが有効なものにならないという考えから生み出された練習内容なのだと思います。



三点倒立

側転

肩車



第二部は「接地感覚トレーニング」とメニュー表には記されており、補足事項として「圧をかけて→動く」と付け加えられていました。第一部と同様に具体的な内容を挙げておきます。①ハードル等を用いて作用・反作用の確認 ②両足でジャンプ+両足で下がる ③2ステップで上がる+2ステップで下がる ④片足で上がる(違う足で接地)+片足で下がる(違う足で接地) ①の「作用・反作用」という言葉に見られるように、物理の法則に則った走りの技術の習得が後藤先生のふれない考え方のだろうと私は受け止めました。紙幅の関係で写真は一部しか紹介できませんが、文字ステップボードジャンプだけでは伝えきれないと感じてしまうほどに有効なトレーニングだと思われました。

ここまでの段階で、メニュー以外にも印象に残った点が二つありました。一つめは、1年生でまだまだ動きを習得できていない選手に対して、特に名古屋地区予選を通過した3年生が熱心に補助したり、アドバイスをしたりと面倒を見ていたことです。活躍している学校の取材をするとよく見受けられた光景なのですが、名古屋西高校にもそれがありません。二つめは、第二部に登場した器具です。後藤先生がステップボードと呼んでおられた手作りのものです。選手一人ひとりに行き渡るほどの数があり、この手作りの練習器具からも後藤先生の情熱が感じられました。

第三部「中臀筋トレーニング」、第四部「大腿骨トレーニング」、第五部「Skipの練習」と続いていったのですが、一つひとつの練習内容を紹介する紙幅が無いのが残念です。紙幅は足りませんが、印象に残ったことを書き記しておきます。第三部については、メニュー表に筋肉の解剖図が掲載されていました。第四部についても骨格の模型図が掲載されておりました。私は骨格や筋肉の付き方から動きを指導するほど人体に対する理解がありませんので、これまでの不勉強を恥じるばかりでした。体育科の人間ではないのだからとも思いましたが、後藤先生も公民科の先生です。言い訳はできません。第四部の「大腿骨トレーニング」はお風呂マットを縦に10枚ほど並べて、その上を立て膝で進むものでした。その際に、踵がお尻につくように後ろではね上げた膝から下の足首の部分を後ろに回した手で掴み大腿骨の生み出す力だけで前進するという動きでした。これによって大腿骨のせりだしやしなりを習得して走りにつなげるというトレーニングなのですが、なかなか奇妙なトレーニングでした。よくこんなトレーニングを思いついたものだったのですが、他県の先進的な学校の内容を学び、さらに多種目で共用できるように再編成したものだと思いましたが、後藤先生はおっしゃっていました。長いことU20・U18の大会が愛知県で行なわれていたので、他県の先生方との交流が生まれ、多くのものを取り入れることができたことと全国大会を愛知県で開催することのメリットもお話してくださいました。

練習の最後はダウンスプリントで、これも練習の最後が補強運動で終わるような一般的なものとは異なっていました。50mSkip + 50mSprint で間を100mのジョグでつなぐものでした。後藤先生は、いい走りのイメージを残して明日につながる終わり方をしたいのでおっしゃり、またしんどい思いだけを残す補強で終わらせたくないともおっしゃっていました。この考え方も、取り入れるのに値する考え方だと思いました。

取り入れるのに値すると言えば、練習の間ずっと動き回っておられた姿もその一つです。3時間に及ぶ練習の間にシートに腰を下されたのは水分補給の為の一度だけでした。選手に寄り添う指導者といったところでしょうか。またその指導は問いかけが中心で、選手自身に考えさせることが主体となっていたことも付け加えておきます。



後藤先生は今年からスポーツ科学系の大学院(通信制)で学んでおられるとお聞きしました。休みなく指導にあたる後藤先生。修士の学位取得を目指しておられるとのことでしたが、益々指導に磨きがかかり、名古屋西高校の活躍も一段と目を引くことになりそうです。

(取材文責・写真 大西敏功)

の共催事業が計画されており、今後の瑞穂本陸上競技場の改修を見据えた競技会運営を試行していく年になります。

(吉越 明)

## 尾張陸上競技協会

尾張陸協は今年度も昨年までとほぼ同一の役員体制(新理事1名、辞退1名、強化委員会正副交代)でスタートしました。

今シーズンは、愛知県一宮総合運動場陸上競技場が3月に更新工事が終了し、ほぼ例年と同様に競技会等が組まれています。例年と違う点は、県選手権予選会廃止にともなう標準記録突破競技会の設定、県中学新人大会創設にともなう尾張中学新人大会の時期の変更です。また昨年、新たな試みとして行なわれた愛知パラ陸上競技フェスティバルは、6月23日(日)に2回目を実施しました。今年度は日本パラ陸上競技協会の増田明美会長がマイクを奪い、大会を盛り上げてくれました。日本新記録も1つ誕生し、和やかな中にも、競技運営が締まった大会でした。WPA公認大会になれば、さらに多くのパラアスリートが全国から集まることでしょう。

現在までの全国大会出場者は以下のとおりです。

### 全国高等学校総合体育大会出場者

男子 800m	松本 結叶 (愛知黎明)
男子 400mH	土居 駿斗 (津島)
男子砲丸投	上床 隆太 (一宮北)
男子ハンマー投	濱口 元紀 (起工)
男子やり投	新谷 友基 (一宮北)
女子 400mH	永野 朱音 (西春)
女子 5000mW	岩田 華侑 (一宮)

続いて今回も、尾張陸協の競技会運営上の工夫を紹介します。工夫と言っても目新しいものではありません。瑞穂競技場で行なわれているビデオ監察を、一宮の競技場でも取り入れたというものです。瑞穂競技場で行なわれていると同様に家庭用のハンディカメラを用いています。ビデオ監察の審判員は二人で、スタンドと第一曲走路の土手の芝生席の二箇所から撮影しております。なお、尾張の競技会では写真・ビデオの撮影においては一般の方に撮影許可証を携行していただいておりますので、ビデオ監察の審判員はビブスを着用して撮影しています。

昨年ビデオカメラを二台購入し秋の高校新人戦から監察を始めたのですが、ビデオの導入には次のいきさつがありました。春の高校総体の女子4×100mRでオーバーゾーンで失格となったチームに対する判定が、非常に微妙であったというものです。特に上の大会につながる競技会では、慎重かつ正確な判定が求められます。そこで尾張陸協では、ビデオ監察を導入して判定の精度を高めることとしたのです。

これまでにビデオ映像に基づいて行なわれた判定がいくつかありますが、事例を三点紹介しておきます。まずは、リレーに関わるものを二点紹介します。一つ目は、リレーの第三走者が立つ位置がバトンゾーンの入り口より手前であったことが映像に映っていた事例です。その走者がその位置から走り出していたことも映像にあり、ルールどおり審判長判断で失格となりました。二つ目は、逆に救われた事例です。次走者の前脚がバトンゾーンの出口のラインをまたぐ形になっていたのですが、バトンがまだゾーン内に

あって受け渡しも完了していることが映像によって確認され、セーフの判定となりました。三つ目に、駅伝での事例を挙げておきます。尾張駅伝では、たすきの受け渡し場所の近くに三脚を用意して二台のビデオを設置し、監察を行ないました。このレースでは、スタート時間こそ違いますが、四つのカテゴリー(一般高校男女・中学男女)が同時にレースを行なっている状態が起きます。走者が交錯して判定がしづらくなる場面が発生することもあります。計時・決勝の審判員が慎重に判定をしますが、その補助というわけです。一件、チームの読み落としがありました。映像を巻き戻してチームの確認をすることができ、区間順位・区間記録も確定することができました。

ビデオ監察を導入した結果、より正確な判定を行なうことができるようになりはしましたが、ビデオの映像はあくまで補助的なものだと考えております。主体は監察員の目によるものであり、審判員が目を見ていかなければならないことは言うまでもありません。



審判精度にひと役

(青山 充資)

## 西三河陸上競技協会

4月6・7日の西三河記録会を皮切りに、本年度のトラックシーズンがスタートしました。本年度も昨年度までの良き流れを止めることなく、更なる高みをめざして各大会で頑張してほしいと思います。

昨年度的全日中では、女子4×100mリレー(上郷中)の優勝、また高校総体では、女子走高跳の小笠原早矢楓選手(安城学園)の準優勝をはじめ4種目で入賞、インカレにおいても、男子走高跳の水谷 来選手(中京大)の準優勝をはじめ4種目で入賞など、ここ数年間、西三河地区の選手の活躍は目覚ましいものがあります。また、オリンピック選手である山本聖途選手が、5月にドーハで開催されたダイヤモンドリーグ開幕戦で5m61の好記録で銅メダルを獲得するなど、来年度の東京オリンピックでの活躍が期待されます。

本年度の全国大会は、全日中は大阪府、高校総体は沖縄県で開催されます。6月15・16日には、全国中学通信陸上大会の西三河予選会が開催されました。本年度も県・全国大会に向けて、西三河地区の選手がたくさん活躍してくれることを楽しみにしたいと思います。

高校においても、5月に全国総体の西三河予選会、県大会、そして6月21～23日には静岡市で東海地区予選会が開催されました。

### 高校総体東海地区予選会結果

男子 100m	4位	遠藤 耕介 (刈谷北)
800m	3位	永井 翔真 (岡崎城西)
110mH	6位	辻 日向 (岡崎)
4×400mR	5位	岡崎城西 (萩原拓斗・近藤工雅・永井翔真・藤井裕也)
走高跳	優勝	宇野琳太郎 (安城学園)
	4位	佐藤 拓仁 (岡崎城西)
ハンマー投	5位	岸本 嶺玖 (安城学園)
女子 100m	4位	村木 未澁 (安城学園)

	6位	濱山 瑞希 (安城学園)
200m	3位	村木 未澪 (安城学園)
800m	4位	小山 愛結 (安城学園)
1500m	2位	兵藤 柚花 (岡崎北)
	3位	城所 日和 (岡崎学園)
3000m	優勝	城所 日和 (岡崎学園)
	4位	内田 妃 (岡崎学園)
	5位	坂牧 紗衣 (光ヶ丘女子)
100mH	6位	田中 千尋 (岡崎城西)
400mH	2位	真鍋 綾菜 (愛教大附)
4×100mR	3位	安城学園
		(濱山瑞希・村木未澪・森本みく・中山愛理)
	6位	岡崎城西
		(永井絵理香・山口こころ・竹崎郁乃・沖 美月)
4×400mR	5位	安城学園
		(小山愛結・村木未澪・飯田真衣・中根 葵)
走高跳	優勝	小寺 波音 (安城学園)
	4位	千葉 玲央 (岡崎城西)
棒高跳	優勝	渡邊 南月 (岡崎城西)
走幅跳	2位	高橋 好波 (三好)
三段跳	2位	小寺 波音 (安城学園)
	3位	吉田 伊吹 (光ヶ丘女子)
円盤投	優勝	近藤 未空 (安城学園)
ハンマー投	2位	杉山 文美 (安城学園)
やり投	6位	中川 満瑠 (三好)

上記の通り、9校 22種目延 35名の選手が入賞し、全国総体の出場権を獲得しました。

「令和」の時代、最初の全国総体での選手の大活躍を期待したいと思います。(太田 一弘)

### 東三河陸上競技協会

平成31年・令和元年主な役員一覧表(平成31年4月6日 東三河地区総会)

会 長	夏目 輝久	
副 会 長	白井 良三・伊藤 朝一・伊藤 博之・井上 兼久・横田 泰一	
理 事 長	兵藤 重二	
副理事長	仲井 雅弘	
理 事	小・中・高・一般・地区代表・女性の各理事を選出	
会 計	山本 陽子・福田 勝顕	
秘 書	中西 征裕・山本 誠司・(鈴木 俊也)	
専門委員長	総 務	山本 誠司
	競 技	横地 勝
	審 判	鈴木 俊也
	記 録	鈴木 信弘
	施 設	中村 昭広
	強 化	鈴木 克哉
	マスターズ	北河 紀人

上記のように平成31年・令和元年の東三河陸上競技協会の主な役員が決まりました。

新スタンド建設をし、平成30年4月1日よりリニューアルオープンした豊橋陸上競技場ですが、1年を経過して多くの市民が活用しております。また、他市からもご来場いただいております。これに甘えることなく東三河の陸上競技のメッカとして選手が利用しやすい場所として、協会としても豊橋市と手を携えて協力していきたい

と思っています。

#### 【平成31年・令和元年の主な目標】

- 令和2年の競技場検定に向けての施設・備品等の点検と記録を丁寧に行なう。
- 「選手目線で作られた豊橋陸上競技場」の良さを知ってもらう為、更に広報活動を行なって利用者の増員を図り、東三河地区の選手育成と強化の一役を担えるようにする。
- 豊橋陸上競技場内のコンディショニングルームやクロカンコースを積極的に活用して、東三河から全国大会へそして、日本・世界へ羽ばたけるようなジュニア選手の育成を図る。
- 部活動の縮小や制限、更に廃止の動きが有る中で、陸上競技をやりたい子供達の意欲を失わせないような組織やクラブチームの設立を検討する。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック、2024年パリオリンピック・パラリンピックを見据えた選手育成を行なう。
- 大学(一般)・高校・中学・定通制・小学生・マスターズ等の全国大会への多数出場をめざす。
- 記録のIT化をより一層進め、陸上競技大会の正確で迅速な情報の提供を図る。
- 研究会・講習会・全国大会へ選手・会員を派遣して、選手および会員の資質向上を図る。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を記念した陸協行事を計画する。
- 2年前に設置したトレーナー部会の活性化と充実を図る。
- 協賛番組のFM豊橋(84.3MH)「チャ・RUN・ポ・RUN」において東三河陸上競技協会の活動状況を広報し、大会の宣伝と選手・団体等の活躍を紹介する。
- 公認審判員の取得者増員とそれに伴う支援を継続する。(夏目 輝久)

## 関係団体報告

### 小学生友の会



より遠くへフライ!

次へつながるバトンパス

6月23日(日)パロマ瑞穂スタジアムで第35回全国小学生陸上競技交流大会愛知県予選会が行なわれました。今大会からコンバインド競技が採用されました。コンバインドA(80mH・走高跳)、コンバインドB(走幅跳・ジャベリックボール投)が種目の内容です。競技熱の過熱化やけがのリスクの高まりなどの社会情勢をふまえ、いろいろな動きや種目を経験することで長期的に陸上競技に親しむ選手の育成に力を入れています。また、スタートコールもイングリッシュコールとなりました。



本大会では、全国大会をめざし、白熱したレース展開であったり、自己記録を更新したりと、選手が全力で競技に取り組む姿が印象的でした。中でも6年男子100mは、3位までが大会新記録となる接戦で大変盛り上がりしました。

今年は、8月10日(土)日産スタジアムで開催されます。愛知県選手団のますますの活躍が期待されます。

### 第35回全国小学生陸上競技交流大会愛知県予選会

#### 優勝者(チーム)一覧

##### 男子

種目	氏名	所属	記録
5年100m	大村 海惺	なごや陸上クラブ	13.89
6年100m	中島 悠太	TSM	12.28 (大会新)
コンバインドA	坂井 大一	TSM	2207
コンバインドB	安藤 楓真	東郷 AC	2084

##### 女子

種目	氏名	所属	記録
5年100m	高崎 生愛	稲沢 AC	14.23
6年100m	神谷 朱里	安城 JAC	13.12
コンバインドA	村田 愛奈	TSM	2177
コンバインドB	伊藤 優亜	愛知つばさ TCA	1969

##### 混合リレー

種目	氏名	所属	記録
共通4×100mR	山本 遥 神谷 朱里 小野 真大 山内 達平	安城 JAC	51.43

(佐々木博幸)

## 中小体連

6月7日(金)愛知県教育会館において、今年度、第1回の中小体連陸上競技部会を開催いたしました。活動方針、主催大会の運営、愛知陸協より絶大な支援を頂いている強化委員会ジュニア部の事業計画等を議題として行ないました。この紙面上で活動方針、組織を紹介させていただきます。

#### ○活動方針「陸上競技の振興に努力する」

1. 主催【総体、駅伝】・共催大会【通信】の成功
2. 長期的視野に立った競技力向上体制の確立

#### ○組織(氏名左の新、所属の下線:今年度より)

部長 木全 和代(大高中校長)

副部長(委員長) 佐橋 弘晃(扇台中)

総務部長 高木 淳(永和小)

総務部委員 本多 君徳(末野原中)

(財務担当) 三尾麻由美(長良中)

競技運営部長 秋山真一郎(大高中)

競技運営部委員

競技:(新)石田 伸(知多中)

(新)加藤 崇(今伊勢中)

駅伝:横内 隆之(羽田中)

山田 恭義(豊川南部中)

審判:柴田 卓也(高蔵寺中)

本多 君徳(末野原中)

情報:谷口 直土(守山西中)

(新)平野 達也(愛知淑徳中)

杉浦 大作(岡崎北中)

強化部長 谷口 直土(守山西中)

強化部委員(ジュニアオリンピックリレー担当)

男子:(新)秋山真一郎(大高中)

女子:(新)仲田 優也(振甫中)

(県中小体連強化部=愛知陸協ジュニア部)

会に先立ち、県中小学校体育連盟顕彰式が行なわれました。(受賞者は以下のとおりです)

#### ・扇台中 佐橋 弘晃

(県中小体連陸上競技部専門委員長・副部長・運動部員、通算10年)

#### ・田原東部中 上田 幸輝

(県総体 男子1500m、3000m 3年連続優勝)

#### ・竜海中 瀧 将太

(県総体 男子100m 3年連続優勝)

引き続き、中学生における陸上競技の普及と育成のため日々指導に当たられている指導者の先生方、そして愛知陸協の先生方とともに「選手ファースト」の観点に立って、推進していきたいと思っております。競技会運営や、指導でお困りのことなどがありましたら、所属の地区運動部員までお声をお聞かせください。先生方の思いを少しでも中小体連の活動に反映できればと考えております。

(佐橋 弘晃)

## 高体連

### 令和元年度全国高校総体(沖縄大会)に向けて

本年度の全国高校総体は、南九州地区の沖縄県で8月4日より開催されます。沖縄県での開催は9年ぶりになります。4月より愛知県下6支部の予選会から始まったインターハイへの道のりも、6月21日から3日間、静岡県袋井市の静岡スタジアムエコパ競技場で開催された東海高校総体にて代表選手が決定しました。ここ数年愛知県は、150名を超える選手が全国大会に出場していました。2020年の全国総体が静岡県開催に決定し、静岡県の活躍と、昨年全国総体を開催した三重県の強化に多少の危機感をもって大会に臨みました。静岡県は例年よりは多くの入賞者を出しましたが、三重県は昨年よりは入賞者を減らす結果となりました。岐阜県は入賞数こそ微増でしたが、男子のリレーで複数入賞しました。個人種目の結果を考えると大いに讃えることができると思います。愛知は入賞数こそ増加しましたが、リレー種目で入賞数を減らす結果となりました。愛知県勢は、男子の優勝数が8種目から10種目に増えました。女子は一昨年は19種目の優勝、昨年度が14種目の優勝でしたが、今年は12種目にとどまりましたのでかなりの減少となりました。その分静岡県が増加しています。リレー種目では2種目合わせて女子が8チーム、男子が5チームの入賞でした。今年も女高男低の傾向でした。

学校別では男子の中京大中京高校と女子の至学館高校の活躍が大いに光りました。両校共に総合優勝に輝きました。

公立高校の活躍もありました。男子では瑞陵高校が400m、400mH、4×400mRで入賞しました。また、やり投では東海高校新記録で優勝し、総合でも5位入賞を果たしました。女子では豊橋南高校がリレー種目で両種目とも7位と残念な結果ではありましたが、個人種目で多数入賞しました。

表のように延べ入賞数は男子45、女子63、合わせて108になりました。ここ数年少し減少していましたが、少し盛り返したと思います。先述の通り静岡県と岐阜県の奮闘に少々押された結果、全国総体参加者数は男子60名、女子84名、総勢144名になりました。過去最多は152名ですので、リレー種目の減少が参加人数の減少につながりました。全国大会での活躍を大いに期待したいと思います。また、中京大中京の男女のハードル1年生コンビの活躍は今後目が離せないと思います。

一方で、本年度の全国大会不出場種目は男子が棒高跳、8種競技の2種目でした。女子は全種目が出場できました。特に男子棒高跳は得意としていた種目での敗退であり、無念さが大いに残りました。愛知県をあげて頑張っていかななくてはならないと感じました。これから大会に向けての各学校の選手の頑張りと同様の先生方のご指導を期待します。

最後になりましたが、高体連としてもできることを、各学校と連携しながら頑張る実践し、今後も努力を続けていきたいと思います。

東海総体入賞者数県別比較 ( )内は昨年度

県名	男子	女子	リレー	合計
愛知	45 (41)	63 (61)	13 (15)	108 (102)
静岡	34 (31)	36 (30)	8 (5)	70 (61)

岐阜	14 (16)	7 (4)	2 (1)	21 (20)
三重	33 (38)	14 (25)	1 (3)	47 (63)
総数	21種目126	20種目120	4種目24	41種目246

※全国出場権 混成競技は3位までと全国上位5名。競歩は4位まで。女子追加種目(棒高跳・三段跳・ハンマー投)は4位まで。

(石井 哲郎)

高体連定通部

全国定通大会 目指せ！男女総合優勝5連覇



橋本陸馬選手(科技高刈谷) ※昨年の全国大会から(3位)

定通制のインターハイである全国定通大会の予選会を兼ねた県定通総体が6月9日(日)に知多で開催されました。雨天の中でしたが、愛知陸協の皆様にご協力を頂き、円滑に運営できましたことをまず御礼申し上げます。今回は旭丘、飛鳥未来、クラーク、ルネサンス豊田の4校が新たに参加し、新戦力の発掘もできた有意義な大会となりました。しかし、女子の参加人数が減少傾向にある

ホープさん ④

伊藤 桃子 選手(中京大中京高)

6月に「ハンパないアスリート」として、ケーブルテレビで中京大中京高校伊藤桃子選手特集が放送されました。一つの種目の技術習得が難しい陸上競技で7種目を2日間で競技するヘプタスロン選手は、半端でない身体能力の持ち主です。その7種競技を高校1年生から極め、U20日本選手権混成競技大会で4位に入賞したことで注目が集まりました。走高跳では日本選手権に出場し、念願のU18日本代表候補にも選ばれました。国内でのU18合宿、台湾遠征を経て3月に香港で開催されたアジアユース選手権で銀メダルを獲得しました。3月と言えばまだ冬期練習中。大会シーズンに対応するスピード練習はできていない段階での大会参加でしたが、それでも5000点をオーバーする「ハンパないアスリート」であります。

日常の練習はスプリントブロックで練習しています。周囲の選手も「ハンパないアスリート集団」なので、練習でも常に高い意識と速いスピードでの練習ができています。「ハンパないアスリート」の桃子選手は実はハンパない集団から生まれました。そして2018年に「ハンパないアスリート集団」がインターハイ女子総合優勝を成し遂げました。

「個人競技の陸上競技をチームスポーツとして捉え、チームとしてのアイデンティティを育てることで個人としてのフィールドを超えて集団に貢献できるだけの能力、スキル、品性を身につけることが大きな価値観を生む」これが中京大中京高校陸上競技部の指導方針であります。選手は自分の価値や信念が組織の醸し出す方向性とピタリと一致したとき、成功に向けてより一層努力できるものです。「ハンパないアスリート」の桃子選手はまさしくその集団の中から生まれた選手であり、今後もその活躍が大いに期待できます。



アジア選手権(香港)銀メダル(カザフスタン・ウクライナの選手と)



インターハイ総合優勝:後列右から3人目

(北村 肇)

ことが心配です。特に女子の投てき種目は競技力の低下も見受けられます。今後の対策が急務です。

さて、競技では男子400mハードルの橋本陸馬選手、男子3000m障害の大曾根魁志選手（ともに科技高刈谷）が大会記録を更新しました。橋本選手は6月1日の西三河選手権で55秒97のタイムで走っており、全国定通陸上の大会記録である56秒11の更新も期待されます。昭和62年の記録をぜひとも令和初の大会で更新してほしいところです。

この大会で選考された40名が愛知県代表として、8月9日（金）～12日（月）に東京・駒沢オリンピック公園陸上競技場で開催される全国定通大会に出場します。男子は金子仁哉選手、女子は尾崎心花選手（ともに科技高刈谷）がキャプテンを務める愛知県は男女総合5連覇がかかっています。昨年は兵庫県と最終日まで接戦を繰り広げた結果、逆転を果たしての総合優勝でした。個人で2種目を制覇するようなスーパーエースは不在ですが、いつものように個々の力を大舞台でしっかりと発揮できるのが愛知です。これまでの経験を生かした総合力とチームワークでどこにも負けない愛知は、今年も優勝旗を持ち帰ります！「チーム愛知」にご声援とご期待のほどよろしくお願いたします。（野口 武則）

## 学 連

### 2019トラックシーズン前半を終えて

本稿では、2019年上半期に開催された各種競技会を振り返る。7月、イタリア・ナポリにて開催されるユニバーシアードの日本代表選手は、派遣標準記録を突破し春先の国内グランプリの成績を含む選考基準の諸条件を満たした選手が選出された。東海地区の学生からは、名城大学の和田有菜（2年）、高松智美ムセンビ（2年）、加世田梨花（3年）の3選手が選出された。同大学の米田勝朗監督もチームコーチ・総務として帯同する。派遣標準記録を突破していた他の選手（第47号参照）は、グランプリで上位成績を残せず落選した。

例年、パロマ瑞穂にて開催していた東海インカレは、今年に限っては岐阜メモリアルにて開催（5/17～19）された。大会期間中、天候も良くコンディショナルには問題なかったが、強風に悩まれた影響もあってか記録的には低調な結果に終わった。それでも、各大学が得意種目で力を発揮しており、上位を同じチームが占める種目が目立った大会であった（表1）。6月は、個人選手権（平塚、7～9日、表2）からはじまって毎週連戦となった。全日本大学駅伝東海地区選考会（刈谷、16日）は、1位となった皇學館大学と2位の愛知工業大学がそれぞれ東海地区代表として推薦される。そして、同週末は西日本インカレ（西京極、21～23日）、最終週は日本選手権（博多、27～30日）で締めくくった。西日本地区の学生にとっては参加競技会の選択やコンディショニングの維持が容易ではないスケジュールであるが、力のある選手は主要大会で活躍していた印象である（表3）。7月以降は、各地区陸協の選手権、地区学連の競技会を経て、9月の日本インカレ（岐阜）に向けて再スタートとなる。

表1：2019東海インカレにて1大学が上位を占めた種目

種目	大学	順位（位）
男子400m	中京大	1, 2, 3

男子棒高跳	中京大	1, 2, 3
男子砲丸投	中京大	1, 2, 3
男子円盤投	中京大	1, 2, 3
女子5000m	名城大	1, 2, 3
女子10000mW	中京大	1, 2, 3
女子砲丸投	中京大	1, 2, 3
女子円盤投	中京大	1, 2, 3
7種競技	中京大	1, 2, 3

表2：個人選手権にて上位に入った東海地区の選手

種目	選手名（大学）	記録
男子400mH	1位 真野悠太郎（名古屋大）	50.37
男子棒高跳	1位 石川拓磨（中京大）	5.20
女子1500m	1位 和田有菜（名城大） 2位 高松智美ムセンビ（名城大）	4:24.23 4:24.65
女子5000m	1位 荒井優菜（名城大）	16:24.30
女子棒高跳	1位 南部珠璃（中京大） 2位 水上真理（中京大）	3.80 3.60

表3：第103回日本選手権東海地区の選手

種目	選手名（大学）
男子400mH	5位 小田将矢、6位 真野悠太郎（名古屋大）
男子走高跳	7位 赤松諒一（岐阜大）
男子棒高跳	8位 石川拓磨（中京大）
女子1500m	4位 高松智美ムセンビ（名城大）
女子円盤投	6位 森川絵美子（中京大）

（黒須 雅弘）

## 実業団

2019年は世界選手権、2020年は東京オリンピックと世界大会が続きます。

2019年度のトラック&フィールドの前半戦を総括してみます。しかしながら6月末に行なわれる日本選手権が、世界選手権の代表選考となりますので、この第48号の発行時には愛知県より、多くの世界陸上代表選手が選出されていることを願います。

その中でも特に有望選手を紹介すると、トヨタ自動車所属の山本聖途選手（棒高跳）【写真】。昨年のアジア大会優勝から好調を維持しています。同所属の湯上剛輝選手（円盤投）。日本記録保持者として、2019年度はまだ60m以上の投擲ができていませんが、日本選手権では好記録での優勝を期待したいです。また、今季好調の走幅跳の南晋太郎選手（健康づくり振興事業団）は、4月の中京大梅村杯の競技会において7m93の愛知県記録を樹立しました。8mジャンパーの仲間入りに名乗りを上げてほしいものです。

女子では、ケガで1年ぶりの試合の中部実業団で復活の



山本聖途選手



山西利和選手

走りを見せてくれた100m・200mの市川華葉選手(ミズノ)の日本選手権での走りにも注目です。

世界選手権にすでに内定している選手は、競歩の山西利和選手(愛知製鋼)【写真】。20km競歩での代表を勝ち取っています。(中村 博之)

## マスターズ陸上

今年度は令和元年を迎え新たなスタートの年になりました。日本マスターズ陸上競技連合も創設40周年を迎え、6月13日には定期総会に合わせて40周年の式典が行なわれました。愛知マスターズも創設33年目になりますが、昨年の登録者数も478名となり年間登録者数では過去最高となりました。中でも新規登録者は104名(内20代:11名)となっています。登録される多くの方は陸上競技に興味を持って新たに始める方もありますが、時間にゆとりができ健康を意識して再開する方もおられます。理由はともあれ同じ目標で同じ競技場で共に汗を流す仲間が増えることは大変嬉しいことです。

さて愛知マスターズは本年度の行事予定としまして、昨年同様記録会を4回(4/21・6/22の2回は終了、残り8/11と8/31を予定)と5月19日には愛知マスターズ選手権大会をウェーブスタジアム刈谷で開催することができました。県外は15の都府県から70名の参加者を迎え、過去最高の305名の参加となりました。競技中は時折7mを越す強風が吹く中での競技でしたが、体調不良やゲガ人もなく無事終えることができました。また6月27日から開催される第103回日本陸上競技選手権大会ではマスターズ枠をいただき、全国では100m 35名(男子17名・女子18名)と1500m 41名(男子26名・女子15名)の選手が出場することになります。なお、愛知からは11名の選手が出場します。



表彰者を囲んで(5/19 ウェーブスタジアム刈谷)

最後になりますが11月17日には昨年に引き続き第32回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝大会の開催が決定しています。愛知陸上競技協会を始め各地区陸協や審判員の方々には今年も大変お世話になりますが、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

### 表彰対象者

- 特別優秀選手賞  
中山淳子(W60:800m・1500m・3000mで日本新記録)
- 優秀選手賞  
松原憲治(M45:走幅跳で日本タイ記録)
- 長期(30年連続)在籍者表彰受賞者  
松本幸人 玉置 久 山田博嗣 庄司タミ代 加藤次男

新美信夫 野呂俊孝 加藤春雄 佐野昭二 熊野三男  
豊川 稔 小島登行

- 長期(20年連続)在籍者表彰受賞者  
森田千博 山田美智 牧 良光 安庭史應

### 第103回日本陸上競技選手権大会愛知マスターズ出場選手

- 100m M55:小高孝二、W40:酒井あおい・浅井紀子、W50:金子葉子・宮本百合、W55:八代香津子
- 1500m M40:近藤直樹、M45:池田昌雄、M55:下川勝彦、W40:坂川真由美、W60:中山淳子  
(下川 勝彦)

## OB・OG会

2019年度愛知陸協OB・OG会定時総会が7月14日に県選手権第一日の終了後、パロマ瑞穂スポーツパーク・ラグビー場会議室で会員42名の参加で開催されました。総会ではパロマ瑞穂スポーツパーク潮崎施設管理係長をご来賓としてお迎えし、昨年度の事業と会計決算報告、続いて今年度の事業計画と予算案の承認をしました。総会の最後には、寿会より、90歳・卒寿を東三河の高橋光夫様、77歳・喜寿を西三河の柴田和秀様、小林暎治様、松本幸人様にお祝いとして記念品を贈呈しました。その後、和やかに懇親会を行ないました。

本会に入会希望の方は、地区世話人までご連絡ください。  
 <尾 張> 小島木広、杉山裕二  
 <名古屋> 國分一郎、稲垣 裕、竹内信雄、佐野昭二、小川真一郎、水野 久  
 <西三河> 竹川正彦、中尾洋一、石田美知枝  
 <東三河> 鈴木 覚、加藤春雄  
 (水野 久)

## 競技会報告

### 第3回アジアユース陸上競技選手権大会 2019年3月15日(金)～17日(日) 香港

#### 女子

種目	氏名	所属	順位	記録
2000mSC	村上 弓月	豊明高	1	7.06.53
七種競技	伊藤 桃子	中京大中京高	2	5088

#### 男子

種目	氏名	所属	順位	記録
1500m	柳本 匡哉	豊川高	2	3.56.56

## 2019 豊橋長距離競技会

2019年4月13日(土) 豊橋市陸上競技場

※1位のみ

種目	記録	氏名	学年	所属
中学・高校男子 3000m	8.40.51	中洞 翔	3	中京院中京高

高校・一般男子 5000m	15.02.21	山口 真弘		TTランナーズ
中学・高校女子 1500m	4.46.93	山川 紗季	3	SQUAD-TAKUYA
中学・高校・ 一般女子3000m	9.51.30	林 那優	3	豊川一宮中

**2019 国体選手選考春季選抜競技会**

2019年4月20日(土)～21日(日)  
パロマ瑞穂スタジアム・パロマ北競技場

※1位のみ

	種目	記録	氏名	学年	所属
男子成年	100m	10.84	本郷 汰樹	3	立命館大
	400m	47.60	村木 渉真	3	早大
	110mH	15.02	角田 涼一		TNP
	400mH	52.02	小田 将矢	M2	名古屋大
	5000mW	22.47.10	鈴木 智大	2	名古屋大
	走高跳	2.06	道脇 大斗		OBUEニスポ
	三段跳	14.79	伊藤 裕也	M1	名古屋大
	砲丸投	12.84	上床 隆太	3	一宮北高
	やり投	70.89	八木 一憲		みかん山
男子少年A	100m	11.06	竹内 大和	3	中京大中京高
	400m	48.97	竹内 彰基	3	瑞陵高
	5000m	15.25.38	有路 翔	2	高蔵寺高
	400mH	52.79	水谷 冠太	3	瑞陵高
	棒高跳	4.50	石川 颯	3	岡崎城西高
	走幅跳	7.20	夏目 涼平	3	豊丘高
	ハンマー投	52.03	久保 和也	3	起工高
	やり投	63.72	堤 洸太郎	3	瑞陵高
	男子少年B	100m	11.44	西垣 拓音	1
3000m		9.01.78	松井 寛翔	3	逢妻中
走幅跳		7.00	中島 海翔	1	名城大附高
砲丸投		12.84	米澤 拓真	1	旭野高
男子少年共通	800m	1.52.94	馬場勇一郎	3	中京大中京高
	5000mW	21.54.21	水口 翔	3	千種高
	走高跳	2.06	宇野琳太郎	3	安城学園高
	三段跳	14.66	森澤 翔尉	3	中京大中京高
	円盤投	44.87	伊藤 蒼真	3	中京大中京高
中学男子	100mJH	14.26	岩堀 剛己	3	名古屋高
	110mH	15.60	加藤 信太	3	TSM
	走高跳	1.75	高橋 晃永	3	宮田中
	走幅跳	6.28	福井 篤輝	3	古知野中
女子成年	砲丸投	11.11	兵藤 拓郎	2	御幸山中
	種目	記録	氏名	学年	所属
	100m	12.40	白田菜々美	3	至学館大
	400m	57.35	松本 扶弥	4	愛知教育大
	1500m	5.02.39	小林 未来	3	安城学園高
400mH	1.00.88	大谷友梨恵		加藤建設	
5000mW	23.37.68	矢来 舞香	3	中京大	

女子成年	走高跳	1.65	千葉 玲央	3	岡崎城西高
	棒高跳	3.80	渡邊 南月	3	岡崎城西高
	やり投	47.20	西山 育未		愛知陸協
女子少年A	100m	12.17	井戸アビゲイル風果	3	至学館高
	400m	56.91	川島 実桜	2	豊橋南高
	3000m	10.10.60	安藤 優月	3	安城学園高
	100mH	14.33	安藤 愛未	3	至学館高
女子少年B	走幅跳	5.64	高橋 好波	2	三好高
	100m	12.71	沖 美月	1	岡崎城西高
	1500m	4.40.21	内山 由菜	3	逢妻中
女子少年共通	走幅跳	5.32	菅沼 瑠璃		田原東部中
	100mYH	14.91	松本佳音彩	1	中京大中京高
	800m	2.12.77	青山 理奈	1	中京大中京高
	400mH	1.01.69	佐竹 里野	3	明和高
	三段跳	12.24	小寺 波音	3	安城学園高
	砲丸投	11.91	木下 七海	3	旭野高
	円盤投	41.97	近藤 未空	3	安城学園高
中学女子	やり投	50.67	田中 友梨	3	至学館高
	100mH	14.96	坂井 寿々	3	TSM
	走高跳	1.55	村松 優	3	平坂中
	走幅跳	5.10	市川 彩乃	2	知立中
砲丸投	12.61	山田 真央	2	御幸山中	

**第63回中部実業団対抗陸上競技大会**

2019年5月11日(土)・12日(日)  
岐阜メモリアルセンター長良川競技場

※愛知県分1位のみ GR:大会新 FR:外国人参考記録

	種目	記録	氏名	所属
男子	1500m	3.46.43	ベナードムイア	トヨタ紡織
	5000m	13.35.00	マチャリアディラング	愛知製鋼
	10000m	27.55.27	ロジャースチュモケモイ	愛三工業
	3000mSC	8.44.03	近藤 聖志	トヨタ自動車
	10000mW	39.30.36 GR	山西 利和	愛知製鋼
	4×100mR	40.70	田中 星次	トヨタ自動車
			高野 克哉	
			新城 健斗	
			渡邊圭一郎	
	4×400mR	3.16.88	大内 謙吾	トヨタ自動車
			三ッ石 達也	
			木屋川内浩二	
			長谷川 慎	
	走高跳	2.01	道脇 大斗	東山小教
走幅跳	7.82	南 晋太郎	健康づくり振興事業団	
円盤投	55.31	湯上 剛輝	トヨタ自動車	
ハンマー投	64.48	墨 訓熙	小林クリエイト	
総合得点: 1位 トヨタ自動車 54点 3位 愛知製鋼 33点				
女子	200m	24.30	市川 華菜	ミズノ
	800m	2.20.40	落合 沙紀	小島プレス

女子	1500m	4.11.52 FR	ヘレン エカラル	豊田自動織機
	5000m	16.53.49	簀下 明音	豊田自動織機
	10000m	33.59.69	川口 桃佳	豊田自動織機
	100mH	14.17	大松 由季	TIS
	3000mSC	12.06.45	幾野由里亜	小島プレス
	4×100mR	50.47	遠山 実希	トヨタ自動車
			土持 真紀	
			江頭 亜美	
			岡戸 美月	
	4×400mR	4.14.62	岡戸 美月	トヨタ自動車
			遠山 実希	
			土持 真紀	
			江頭 亜美	
	走幅跳	5.60	浅野紗弥香	TIS
三段跳	12.48	浅野紗弥香	TIS	
砲丸投	11.17	西山 育未	XEBIO	
総合得点：1位 小島プレス 41点 2位 豊田自動織機 37点				
男女	団体総合得点：1位 トヨタ自動車 87点 3位 豊田自動織機 51点			
男子 Jr	1500m	3.57.23	森 拳真	トヨタ自動車
	5000m	14.58.13	森 拳真	トヨタ自動車
男子 30才以上	100m	11.08	中野 弘幸	安城中部小教
	1500m	4.11.39	小島 拓也	豊橋市役所
男子 40才以上	100m	11.97	小高 孝二	トヨタ自動車
	1500m	4.12.05	池田 昌雄	内外カーボンインキ

男子トラック	4×400mR	3.10.88	祖父江 巧	4	中京大
			野村 勇輝	3	
			藤原 将司	3	
			川端 魁人	3	
男子フィールド	走高跳	2.22 =GR	赤松 諒一	M2	岐阜大
	棒高跳	5.00	石川 拓磨	4	中京大
	走幅跳	7.54	高橋 来唯	3	岐阜協立大
	三段跳	15.98	伊藤 陸	4	近大高専
	砲丸投	16.50	戸澤 廣哉	4	中京大
	円盤投	47.04	中井 康二	3	中京大
	ハンマー投	58.99	佐々木海聖	4	岐阜協立大
	やり投	70.61	藤垣 諒	M2	至学館大
混成	十種競技	6519	岩崎 将真	2	中京大

※1位のみ GR：大会新

種目	記録	氏名	学年	校名		
100m	12.46	天城帆乃香	4	中京大		
200m	26.44	近藤 七海	2	至学館大		
400m	56.84	松本 扶弥	4	愛知教育大		
800m	2.10.85	藤井 亜子	4	至学館大		
1500m	4.33.25	加藤 綾華	3	名城大		
5000m	16.32.19	山本 有真	1	名城大		
10000m	34.42.48	福嶋 紗染	1	名城大		
100mH	14.24	新貝 桃子	4	皇學館大		
400mH	1.00.75	北野 有紀	M2	愛知教育大		
3000mSC	10.51.40	後藤 梨奈	3	中京大		
10000mW	50.11.74	立見 真央	2	中京大		
4×100mR	46.98	加藤 桃佳	M2	至学館大		
		近藤 七海	2			
		白田菜々美	3			
		内藤 未彩	2			
4×400mR	3.47.24	松嶋 真矢	1	至学館大		
		藤井 亜子	4			
		大野 百花	2			
		近藤 七海	2			
女子トラック	走高跳	1.63	加藤 楓	4	静岡大	
	棒高跳	3.60	神谷 優希	2	中京大	
	走幅跳	5.89	水野 舞音	4	岐阜協立大	
	三段跳	12.31	川野 伶奈	3	岐阜協立大	
	砲丸投	12.72	富岡実乃梨	2	中京大	
	円盤投	40.96	堀田 葉月	3	中京大	
	ハンマー投	57.25 GR	藤本 咲良	3	中京大	
	やり投	51.37	中田 寛乃	4	愛知教育大	
	混成	七種競技	5042	高瀬 唯奈	2	中京大

**第85回東海学生陸上競技対校選手権大会**  
2019年5月17日(金)～19日(日)  
岐阜メモリアルセンター長良川競技場

※1位のみ =GR：大会タイ

種目	記録	氏名	学年	校名
100m	10.62	高橋 周治	6	愛知医科大
200m	21.55	川端 魁人	3	中京大
400m	47.84	野村 勇輝	3	中京大
800m	1.52.95	大島 実	2	岐阜協立大
1500m	4.07.70	小林 宏輔	3	愛知工業大
5000m	14.28.49	小林 宏輔	3	愛知工業大
10000m	30.13.26	國司 寛人	D2	名古屋大
110mH	14.22	山本 健太	M2	中京大
400mH	50.54	小田 将矢	M2	名古屋大
3000mSC	9.14.95	塚本 亮司	4	名古屋大
10000mW	45.03.26	川田 敦斗	3	中京大
4×100mR	40.23	種村 隼介	4	岐阜協立大
		江村 翼	4	
		南方 斗喜	4	
		藤本 峻介	4	

**第73回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会**  
**兼第74回国民体育大会選手選考会**  
 2019年5月17日(金)～19日(日)  
 パロマ瑞穂スタジアム・パロマ北競技場

※3位まで PR:県高校新 GR:大会新 =GR:大会タイ

種目	1位	2位	3位	
100m	河田 航典 11.02 中京大中京	浦野 凱瑛 11.05 桜丘	遠藤 耕介 11.05 刈谷北	
200m	竹内 大和 22.51 中京大中京	富田 大智 22.56 中京大中京	浅岡 空弥 22.68 豊橋中央	
400m	富田 大智 48.29 中京大中京	菅沼 玲央 49.19 豊橋東	萩原 拓斗 49.27 岡崎城西	
800m	馬場勇一郎 1.52.65 中京大中京	森山 颯 1.53.07 時習館	永井 翔真 1.53.25 岡崎城西	
1500m	柳本 匡哉 3.55.36 豊川	片山 宗哉 4.04.86 愛知	前田 陸 4.05.08 愛知	
5000m	柳本 匡哉 14.51.17 豊川	鈴木竜太郎 14.52.95 豊川	小林 亮太 14.54.47 豊川	
110mH	岩堀 剛己 14.75 名古屋	高橋 遼将 14.95 中京大中京	西 徹朗 15.05 名古屋	
400mH	高橋 遼将 52.50 中京大中京	土居 駿斗 52.94 津島	水谷 冠太 53.03 瑞陵	
3000mSC	有路 翔 9.21.22 高蔵寺	鈴木竜太郎 9.26.19 豊川	市川 大輝 9.28.02 豊川	
5000mW	水口 翔 21.56.01 千種	川嶋 友稀 22.28.87 一宮西	荒巻 祐弥 22.51.48 西春	
4×100mR	中京大中京 40.49 GR 竹内 大和 河田 航典 神谷 翔矢 富田 大智	岡崎城西 41.36 鈴木 一磨 近藤 工雅 都築 奨一 小倉 一心	名古屋大谷 41.49 林 貴翔 林 将大 吉田壮一郎 坂東 泰基	
4×400mR	中京大中京 3.14.61 神谷 翔矢 小松健太郎 稲川 慧亮 富田 大智	瑞陵 3.15.02 上杉 健人 水谷 冠太 大崎 寛 竹内 彰基	岡崎城西 3.17.17 萩原 拓斗 藤井 裕也 小倉 一心 近藤 工雅	
走高跳	佐藤 拓仁 2.06 岡崎城西	宇野琳太郎 2.06 安城学園	羽根田僚太 2.00 豊田南	
棒高跳	石川 颯 4.60 岡崎城西	安部公士郎 4.50 岡崎城西	田中 優亮 4.50 中京大中京	
走幅跳	神谷 翔矢 7.52 =GR 中京大中京	夏目 涼平 7.51 豊丘	森澤 翔尉 7.31 中京大中京	
三段跳	森澤 翔尉 15.32 中京大中京	稲田 大空 14.18 安城学園	佐々木凱成 13.86 安城学園	
砲丸投	曾根 優太 14.12 春日井工	上床 隆太 13.97 一宮北	高橋 諒 13.86 名古屋大谷	
円盤投	伊藤 蒼真 43.66 中京大中京	小島 一世 43.37 中京大中京	伊藤 光輝 42.00 熱田	
ハンマー投	濱口 元紀 57.20 起工	岸本 嶺玖 54.45 安城学園	伊藤 光輝 53.66 熱田	
やり投	堤 洸太郎 64.86 GR 瑞陵	河邊 大空 58.93 成章	新谷 友基 57.05 一宮北	
混成	八種競技 カルーフアイマン 5122 名古屋	伊藤 嘉基 4971 大府東	亀甲 空雅 4632 春日井南	
対校得点	トラックの部	中京大中京 95点	岡崎城西 38点	豊川 32点
	フィールドの部	中京大中京 60点	豊川 32点	岡崎城西 17点
	総合	中京大中京 35点	安城学園 26点	岡崎城西 21点

種目	1位	2位	3位	
100m	井戸アビゲイル風果 12.20 至学館	大城 珠莉 12.34 至学館	高須 鮎香 12.52 中京大中京	
200m	井戸アビゲイル風果 24.36 至学館	大城 珠莉 24.37 至学館	村木 未澪 24.65 安城学園	
400m	木下 慶乃 55.94 愛知	丹羽 優菜 56.24 明和	三輪 未来 56.39 中京大中京	
800m	青山 理奈 2.14.36 中京大中京	兵藤 柚花 2.14.96 岡崎北	川島 実桜 2.14.99 豊橋南	
1500m	城所 日和 4.29.60 岡崎学園	内田 妃 4.33.61 岡崎学園	兵藤 柚花 4.34.51 岡崎北	
3000m	城所 日和 9.37.32 岡崎学園	内田 妃 9.48.48 岡崎学園	阪井 空 9.56.47 豊川	
100mH	西川 知沙 14.09 豊橋南	安藤 愛未 14.23 至学館	松本佳音彩 14.49 中京大中京	
400mH	真鍋 綾菜 1.01.75 愛知教育大附	佐竹 里野 1.01.77 明和	永野 朱音 1.02.29 西春	
5000mW	加藤 瞳 26.12.76 名古屋西	岩田 華侑 26.28.42 一宮	多久なづな 26.29.86 安城	
4×100mR	至学館 46.57 大城 珠莉 安藤 愛未 中西 楓夏 井戸アビゲイル風果	安城学園 46.73 濱山 瑞希 村木 未澪 手島 美咲 中山 愛理	中京大中京 46.90 外園 愛梨 倉橋 美穂 岸本 優花 高須 鮎香	
4×400mR	至学館 3.49.33 大城 珠莉 澤 美羽 山下なぎさ 井戸アビゲイル風果	中京大中京 3.52.06 三輪 未来 中井 彩加 山田 晴華 青山 理奈	安城学園 3.54.87 小山 愛結 村木 未澪 飯田 真衣 濱山 瑞希	
走高跳	小寺 波音 1.67 安城学園	上野 真白 1.64 名東	梶原 梨央 1.61 山田	
棒高跳	渡邊 南月 3.82 GR 岡崎城西	篠崎 稔里 3.40 至学館	浦津なのの 3.40 中京大中京	
走幅跳	吉田 伊吹 5.74 光ヶ丘女子	小船妃那子 5.65 岡崎城西	木村 莉子 5.62 瑞陵	
三段跳	小寺 波音 12.61 安城学園	吉田 伊吹 12.28 光ヶ丘女子	山下 李瑚 11.81 渥美農	
砲丸投	平岩 志萌 11.87 旭野	岩田やえの 11.79 中京大中京	中島 彩瑛 11.77 中京大中京	
円盤投	近藤 未空 41.83 安城学園	中嶋日向子 37.51 修文女子	中島 彩瑛 36.83 中京大中京	
ハンマー投	木下 七海 51.01 GR 旭野	杉山 文美 49.03 安城学園	中嶋日向子 47.40 修文女子	
やり投	田中 友梨 50.69 PR GR 至学館	丹羽 瞳 44.51 岡崎学園	辻 萌々子 42.77 名古屋大谷	
混成	七種競技 伊藤 桃子 5005 中京大中京	田中 友梨 4978 至学館	前田あすか 4537 名城大附	
対校得点	トラックの部	中京大中京 65.5点	至学館 65点	安城学園 51点
	フィールドの部	至学館 44点	中京大中京 33点	安城学園 26点
	総合	安城学園 25点	中京大中京 23.5点	岡崎城西 22.5点

**第28回マスタース陸上競技選手権大会**  
 2019年5月19日(日) ウェーブスタジアム刈谷

(愛知県分: GR以上)

クラス 氏名 記録 備考

男子 60m

M50 小高 孝二 7.56 大会新

男子 200m				
M25	鈴木 悠右	22.64	大会新	
男子 400m				
M50	尾藤 敬	57.20	大会新	
M50	牧 良光	58.50	大会新	
男子 5000m				
M40	近藤 直樹	15.31.31	大会新	
男子 3000mW				
M30	中尾 圭	15.55.29	大会新	
男子走高跳				
M50	小川 裕之	1.55	県・大会新	
M65	葛谷 五彦	1.20	大会新	
M65	戸澤 一起	1.15	大会新	
男子砲丸投				
M80	三浦 竹徳	10.95	大会新	
男子ハンマー投				
M30	上原 隆伸	44.11	大会新	
男子やり投				
M50	中根 裕司	49.10	県・大会新	
男子重量投				
M30	上原 隆伸	11.02	大会新	
M30	山口 北斗	10.52	大会新	
M75	山田 博嗣	14.89	大会新	
女子 100m				
W-24	伊藤 里帆	13.45	県新	
W25	松井 美樹	13.27	大会新	
W25	大脇 理実	13.76	大会新	
女子 200m				
W50	宮本 百合	29.74	大会新	
女子 800m				
W60	中山 淳子	2.49.92	大会新	
女子走高跳				
W45	豊廣 里子	1.50	大会新	
W45	釜 純子	1.50	大会新	
W55	本間 明子	1.27	大会新	
女子やり投				
W55	八代香津子	30.89	大会新	
女子重量投				
W80	羽根田富美子	4.93	県新	
女子 4×100mR				
W50	愛知レディース50 谷崎 好美 宮本 百合 矢代香津子 金本 葉子	56.33	大会新	

400m	原田 登生	ルネサンス	53.0
800m	原田 登生	ルネサンス	2.18.5
1500m	大曾根魁志	科技刈谷	4.41.2
5000m	山本 空人	科技刈谷	17.36.9
400mH	橋本 陸馬	科技刈谷	57.3 GR
3000mSC	大曾根魁志	科技刈谷	10.33.1 GR
4×100mR	科技刈谷 (橋本 陸馬・植村 朋哉・ 金子 仁哉・浅井 健汰)		46.6
4×400mR	科技刈谷 (橋本 陸馬・大曾根魁志・ 金子 仁哉・綾部 俊哉)		3.56.1
走高跳	清水 源樹	科技刈谷	1.85
走幅跳	角田 侑哉	科技刈谷	6.32
三段跳	角田 侑哉	科技刈谷	11.83
砲丸投	水野 絢世	城北つばさ	9.94
円盤投	水野 絢世	城北つばさ	29.43
男子総合	科技刈谷		117

女子

種目	氏名	校名	記録
100m	近藤ひより	クラーク	14.5
200m	森 なつ実	飛鳥未来	28.2
400m	森 なつ実	飛鳥未来	1.05.6
800m	尾崎 心花	科技刈谷	2.51.0
3000m	杉浦 由依	科技刈谷	13.05.6
100mH	八田 彩伽	科技刈谷	17.9
4×100mR	科技刈谷 (吉川 怜伽・杉浦 由依・ 尾崎 心花・八田 彩伽)		58.9
走高跳	井上アリサマリエ	旭丘	1.40
走幅跳	赤川 真白	起工	4.40
砲丸投	佐藤 愛李	刈谷東昼	5.57
円盤投	長岡 せな	豊橋昼	15.31
女子総合	科技刈谷		54

第66回東海高等学校総合体育大会兼秩父宮賜杯  
第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会  
2019年6月21日(金)～23日(日)  
小笠山総合運動公園

6位(競歩は4位、混成は3位)入賞者は全国大会出場  
男子 ※ HT:東海高校新 GR:大会新

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	4	10.57	遠藤 耕介	刈谷北
200m	6	21.84	富田 大智	中京大中京
400m	1	47.24	富田 大智	中京大中京
	5	48.40	竹内 彰基	瑞陵
800m	2	1.52.10	馬場勇一郎	中京大中京
	3	1.52.71	永井 翔真	岡崎城西
	4	1.53.86	松本 結叶	愛知黎明
	6	1.54.02	森山 颯	時習館

第70回愛知県高等学校定時制通信制陸上競技大会  
2019年6月9日(日)知多運動公園陸上競技場

男子 ※ 1位のみ GR:大会新

種目	氏名	校名	記録
100m	坂本 陽斗	飛鳥未来	11.4
200m	新實 康生	刈谷東昼	24.0



1500m	1	3.47.15 GR	柳本 匡哉	豊川
	2	3.50.26	前田 陸	愛知
	5	3.58.52	有路 翔	高蔵寺
	6	3.59.07	片山 宗哉	愛知
5000m	1	14.27.71	柳本 匡哉	豊川
	6	14.33.88	小林 亮太	豊川
110mH	1	14.53	高橋 遼将	中京大中京
	2	14.54	西 徹朗	名古屋
	4	14.76	岩堀 剛己	名古屋
	6	14.95	辻 日向	岡崎
400mH	1	51.72 GR	高橋 遼将	中京大中京
	3	52.61	中村 洋介	横須賀
	4	52.72	土居 駿斗	津島
	6	52.89	水谷 冠太	瑞陵
3000mSC	2	9.16.78	市川 大輝	豊川
	5	9.17.47	桑原 悠輔	愛知
5000mW	2	22.05.12	水口 翔	千種
4×100mR	1	40.45	竹内 大和 鈴木 大河 神谷 翔矢 河田 航典	中京大中京
	3	40.81	林 貴翔 吉田 壮一郎 坂東 泰基	名古屋大谷
4×400mR	1	3.12.36 GR	神谷 翔矢 小松 健太郎 稲川 慧亮 富田 大智	中京大中京
	2	3.12.82	大崎 寛 水谷 冠太 上杉 健人 竹内 彰基	瑞陵
	5	3.14.46	萩原 拓斗 近藤 工雅 永井 翔真 藤井 裕也	岡崎城西
走高跳	1	2.07	宇野琳太郎	安城学園
	4	2.04	佐藤 拓仁	岡崎城西
走幅跳	1	7.36	神谷 翔矢	中京大中京
三段跳	2	14.75	森澤 翔尉	中京大中京
砲丸投	5	14.49	上床 隆太	一宮北
円盤投	4	46.53	小島 一世	中京大中京
	5	44.84	伊藤 蒼真	中京大中京
	6	44.52	伊藤 光輝	熱田
ハンマー投	3	58.97	濱口 元紀	起工
	5	55.87	岸本 嶺玖	安城学園
やり投	1	69.16 HT GR	堤 洗太郎	瑞陵
	3	59.25	河邊 大空	成章
	4	58.06	新谷 友基	一宮北
総合	1位：中京大中京 52点 2位：豊川 18点 5位：瑞陵 16点			
トラック	1位：中京大中京 36点 2位：豊川 18点 6位：瑞陵 10点			
フィールド	1位：中京大中京 16点 5位：安城学園 8点			

女子の棒高跳・三段跳・ハンマー投の4位入賞者は全国大会出場女子 ※GR：大会新

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	1	11.73 GR	井戸アビゲイル風果	至学館
	2	11.82	大城 珠莉	至学館
	4	12.00	村木 未滯	安城学園
	6	12.02	濱山 瑞希	安城学園
200m	1	24.17	井戸アビゲイル風果	至学館
	2	24.56	倉橋 美穂	中京大中京
	3	24.57	村木 未滯	安城学園
	4	24.80	大城 珠莉	至学館
	6	25.08	竹川 綾乃	豊橋南
400m	2	56.25	川島 実桜	豊橋南
	6	56.91	木下 慶乃	愛知
800m	2	2.10.02	川島 実桜	豊橋南
	3	2.10.54	青山 理奈	中京大中京
	4	2.11.34	小山 愛結	安城学園
	6	2.11.80	萩原 さや	中京大中京
1500m	2	4.29.43	兵藤 柚花	岡崎北
	3	4.29.53	城所 日和	岡崎学園
	4	4.30.01	吉田 彩乃	愛知
3000m	1	9.41.08	城所 日和	岡崎学園
	3	9.48.54	阪井 空	豊川
	4	9.48.56	内田 妃	岡崎学園
	5	9.49.83	坂牧 紗衣	光ヶ丘女子
	6	9.50.00	萩原 さや	中京大中京
100mH	1	13.75	松本佳音彩	中京大中京
	2	13.78	安藤 愛未	至学館
	3	13.81	西川 知沙	豊橋南
	4	13.92	木村 加乃	至学館
400mH	2	59.72 GR	真鍋 綾菜	愛教大附
	3	59.74 GR	佐竹 里野	明和
	5	1.00.10 GR	永野 朱音	西春
5000mW	1	25.45.73	岩田 華侑	一宮
	4	25.46.89	三井 咲	愛知
4×100mR	1	45.92	大城 珠莉 安藤 愛未 中西 楓夏 井戸アビゲイル風果	至学館
	2	45.94	岸本 優花 倉橋 美穂 外園 愛梨 高須 結香	中京大中京
	3	46.37	濱山 瑞希 村木 未滯 森本 みる 中山 愛理	安城学園
	6	46.90	永井 絵理香 山口 ころ 竹崎 郁乃 沖 美月	岡崎城西
	4	47.00	萩原 さや	中京大中京
	5	47.00	萩原 さや	中京大中京
4×400mR	1	3.45.77	山下 なぎさ 大城 珠莉 澤 美羽 井戸アビゲイル風果	至学館

4×400mR	2	3.49.37	須崎 心優 中井 彩加 青山 理奈 三輪 未来	中京大中京
	3	3.50.13	大矢 琴子 木下 慶乃 嵐 結菜 鹿島菜々子	愛知
	5	3.50.56	小山 愛結 村木 未滯 飯田 真衣 中根 葵	安城学園
走高跳	1	1.73	小寺 波音	安城学園
	2	1.70	伊藤 桃子	中京大中京
	4	1.64	千葉 玲央	岡崎城西
	6	1.61	上野 真白	名東
棒高跳	1	3.81 GR	渡邊 南月	岡崎城西
	2	3.70	浦津なのの	中京大中京
走幅跳	2	5.83	高橋 好波	三好
	4	5.78	木村 莉子	瑞陵
三段跳	2	12.48	小寺 波音	安城学園
	3	12.28	吉田 伊吹	光ヶ丘女子
砲丸投	6	12.20	平岩 志萌	旭野
円盤投	1	43.35	近藤 未空	安城学園
ハンマー投	1	50.74	木下 七海	旭野
	2	50.38	杉山 文美	安城学園
やり投	2	48.53	田中 友梨	至学館
	4	44.26	辻 萌々子	名古屋大谷
	6	43.78	中川 満瑠	三好
七種競技	1	5090 GR	伊藤 桃子	中京大中京
	2	5047 GR	田中 友梨	至学館
	3	4647	前田あすか	名城大附
総合	1位:至学館 51点 2位:中京大中京 44点 3位:安城学園 39点 5位:豊橋南 15点			
トラック	1位:至学館 40点 2位:中京大中京 26点 3位:安城学園 17点 4位:豊橋南 15点			
フィールド	1位:安城学園 22点 3位:中京大中京 10点 4位:岡崎城西 9点			

4年 80mH	杉浦 崇義 13.69 TSM 岡崎	小木曾蒼真 13.85 TSM	脇島 良惟 14.38 成岩 SC 陸上
4年 走高跳	石川 湊真 1.15 JAC 武豊	石井 佑昊 1.05 布袋陸上クラブ	高野 悠心 1.05 TSM 岡崎
4年 走幅跳	橋 大和 3.82 東浦 AC	濱山 瑛大 3.71 乙川 SC	藪本 尚士 3.59 JAC 武豊
4年 ジャベックボール投	齋藤 大和 37.35 トライル AC	辻 旺真 36.49 なごや陸上	谷口 澁弥 34.70 トライル AC
共通 コンバインドA	坂井 大一 2207 TSM	高島 悠生 2130 TSM	樋口 諒 2120 TSM
共通 コンバインドB	安藤 楓真 2084 東郷 AC	猪熊 凌撰 2012 TSM	柏崎 祐毅 1842 安城 JAC

女子

種目名	1位	2位	3位
4年 50m	祖父江亜希夏 7.71 AC 一宮 kids	神野 季空 7.85 TSM	小林 ゆら 7.90 豊川 AC
5年 100m	高崎 生愛 14.23 稲沢 AC	花井 咲愛 14.35 豊橋陸上	竹内 沙葉 14.37 上郷 JAC
6年 100m	神谷 朱里 13.12 安城 JAC	三輪 琉姫 13.28 トライル AC	佐竹 愛琉 13.50 豊川 AC
4年 80mH	榊原 東子 14.39 JAC 武豊	浅井 暖乃 14.53 TSM 岡崎	酒井 波 14.83 成岩 SC 陸上
4年 走高跳	橋本菜成美 1.10 田原陸上クラブ	森山ひまわり 1.10 JAC 武豊	0.85 伊藤 羽依 へきなん陸上 中村 愛莉 田原陸上クラブ
4年 走幅跳	角谷 柚香 3.55 へきなん陸上	加藤 汐乃 3.46 JAC 武豊	犬飼 七彩 3.39 JAC 武豊
4年 ジャベックボール投	窪田真奈佳 28.37 大須 AC	秋田 陽彩 27.72 YOUKI	渡辺 夢奈 25.34 へきなん陸上
共通 コンバインドA	村田 愛奈 2177 TSM	井坂 優里 2089 TSM	杉浦こころ 1948 TSM
共通 コンバインドB	伊藤 優亜 1969 愛知つばさ TCA	加藤 里奈 1870 知立ジュニア	糟谷 朋葉 1785 JAC あつみ

混合

種目名	1位	2位	3位
4年 4×100mR	大須 AC 59.52 奥田つばき 伊藤 里桜 毛利 有秀 上原 大輝	豊橋陸上 A 59.61 松橋 颯歩 小山 史恩 藤坂 百彩 清水 柚花	TSM 岡崎小学 59.92 和知 志侑 前田のえる 浅井 暖乃 杉浦 崇義
5年 4×100mR	豊橋陸上 A 56.92 勘解由紗帆 花井 咲愛 鳥山 流生 長岡 碧	安城 JAC A 57.26 田口 心道 田中 咲有 相田 清良 倉地 康介	上郷 JAC 57.27 山岸 弓乃 竹内 沙葉 鈴木 愛将 近藤 祐伍
共通 4×100mR	安城 JAC A 51.43 山本 遥 神谷 朱里 小野 真大 山内 達平	TSM A 51.51 天野レイナ 中島 悠太 井坂 優里 坂井 大一	トライル AC A 52.27 岡林 凜 三輪 琉姫 奥田 真平 守川 毅

2019 愛知県小学生リレー大会  
2019年6月23日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子

GR: 大会新

種目名	1位	2位	3位
4年 50m	7.78 下村 咲翔 TSM 上原 大輝 大須 AC		星川 幾哉 7.80 豊橋陸上
5年 100m	大村 海惺 13.89 なごや陸上	今泉 成聖 13.97 豊川 AC	内海 壱惺 14.03 大須 AC
6年 100m	中島 悠太 12.28 TSM GR	巻口 周平 12.35 田原陸上クラブ GR	水野 賢仁 12.41 なごや陸上

第103回 日本陸上競技選手権大会

2019年6月27日(木)～30日(日) 福岡市博多の森陸上競技場

(愛知県分 8位入賞者)

男子

種目	順位	記録	氏名	所属
5000m	2	13.43.13	田中 秀幸	トヨタ自動車
	3	13.44.40	服部 弾馬	トーエネック
400mH	5	49.60	小田 将矢	名古屋大
	6	50.07	真野悠太郎	名古屋大
3000mSC	6	8.44.86	山口 浩勢	愛三工業
	7	8.48.49	近藤 聖志	トヨタ自動車
棒高跳	3	5.51	山本 聖途	トヨタ自動車
	8	5.31	石川 拓磨	中京大
円盤投	3	56.52	湯上 剛輝	トヨタ自動車
ハンマー投	8	59.24	墨 訓熙	小林クリエイト
やり投	8	72.05	八木 一憲	みかん山
M50 100m	2	11.74	小高 孝二	愛知
M40 1500m	2	4.16.57	近藤 直樹	愛知
M55 1500m	3	4.47.77	下川 勝彦	愛知

女子

種目	順位	記録	氏名	所属
200m	4	24.06	井戸アビゲイル風果	至学館高
800m	7	2.09.35	細井 衿菜	慶應義塾大
1500m	6	4.18.52	福田 有以	豊田自動織機

2019東海混成競技大会兼第40回愛知県混成競技大会  
兼第79回愛知選手権リレー兼国体選考競技会・ジュニア記録会  
2019年6月29日(土)・6月30日(日) パロマ瑞穂スタジアム

THR：東海高校新 PHR：県高校新 GR：大会新

	種目	1位	2位	3位
東海・愛知	男子混成十種競技	柴田 一瞬 6190 順天堂大	伊藤 嘉基 4898 大府東高	丸山 雄太 4666 日福大
	女子混成七種競技	田中 友梨 5078 至学館高	三輪ダリヤ 5065 中央大	白鳥 百花 4496 中京大中京高
選手権男子	5000m	深谷 健斗 14.41.44 TPAC	服部 大暉 14.43.61 愛知工大	酒井 一 14.46.68 SRC
	10000m	坂田 昌駿 30.00.98 中央発條	竹内 颯 30.31.71 中央発條	吉岡 幸輝 30.39.94 中央発條
	3000mSC (0.914m)	河野 宏樹 9.08.97 Tランナース	川瀬 宙夢 9.13.94 筑波大	塚本 亮司 9.21.29 名古屋大
	5000mW	持田 顕人 21.24.92 同志社大	小林 貫太 22.04.19 愛知教育大	増田 翔太 22.09.01 同志社大
	4×100mR	中京大中京高 40.12 THR PHR GR 竹内 大和 富田 大智 神谷 翔矢 河田 航典	中京大 40.13 GR 杉本 大騎 服部 匡恭 佐藤 智博 市橋 直也	トヨタ自動車 40.90 田中 星次 渡邊圭一郎 新城 健斗 家田 英幸

選手権男子	4×400mR	中京大中京高 3.15.05 竹内 大和 富田 大智 稲川 慧亮 小松健太郎	愛知教育大 3.17.99 滝川 修平 天野 知哉 福西 恵大 山田 祐輔	名古屋大谷高 3.25.63 坂東 泰基 花井 琳生 中嶋 湧希 栗田 颯真
	5000m	坂牧 紗衣 17.27.00 光ヶ丘女子高	磯部 早良 17.29.24 安城学園高	安藤 優月 17.30.27 安城学園高
	3000mSC (0.762m)	後藤 梨奈 10.39.55 GR 中京大	森崎 綾乃 10.50.42 関西外大	原 舞奈 10.54.36 東京学芸大
選手権女子	5000mW	岩田 奈央 24.25.57 同志社大	上森 佳代 24.42.33 中京大	岩田 華侑 25.43.90 一宮高
	4×100mR	中京大中京高 46.42 岸本 優花 倉橋 美穂 外園 愛梨 高須 鮎香	安城学園高 A 47.06 濱山 瑞希 村木 未澪 手島 美咲 中山 愛理	岡崎城西高 47.49 河東妃真里 山口こころ 永井絵理香 沖 美月
	4×400mR	中京大中京高 3.48.35 高須 鮎香 青山 理奈 中井 彩加 三輪 未来	至学館高 3.54.03 鈴木 詩織 澤 美羽 星川 茉鈴 山下なぎさ	名城大附高 3.56.89 神田 彩名 前田あすか 林 杏茄 吉田 愛奈
国体男子少年B	100m	館野 峻輝 10.95 中京大中京高	西垣 拓音 11.05 中京大中京高	湯浅 幸介 11.07 豊田南高
	3000m	吉村 聡介 8.40.02 豊川高	近田 陽路 8.53.70 豊川高	大塚 直哉 8.56.44 豊川高
	走幅跳	中島 海翔 7.09 名城大附高	加藤 隼輝 7.04 中京大中京高	田中 瑛一 6.95 田原中
	砲丸投 (5.000kg)	長嶋 流万 13.89 名古屋大谷高	半田 千空 12.37 中京大中京高	米澤 拓真 10.72 旭野高
共通男子	110mH (0.991m)	岩堀 剛己 14.23 名古屋高	高橋 遼将 14.37 中京大中京高	鈴木 大河 14.44 中京大中京高
ABC男子	円盤投 (1.500kg)	吉田 将隆 29.96 港南中	田中 佳亮 29.09 御幸山中	山田 帆恭 27.93 港南中
BC男子	砲丸投 (4.000kg)	兵藤 拓郎 11.49 御幸山中	尾崎 凉 11.36 大高中	鈴木 權斗 11.19 TSM
国体女子少年B	100m	倉橋 美穂 12.07 中京大中京高	沖 美月 12.09 岡崎城西高	福本 萌菜 12.27 中京大中京高
	1500m	林 那優 4.44.25 一宮中	田島 愛梨 4.44.57 愛知陸協	内山 由菜 4.46.84 逢妻中
	100mYH (0.762m/8.5m)	服部明日風 15.06 中京大中京高	高寄 桃花 15.21 中京大中京高	野村穂菜美 15.44 中京大中京高
	走幅跳	柴田 菜那 5.45 名城大附高	菅沼 瑠璃 5.35 田原東部中	木村 実加 5.13 宝神中
A女子	砲丸投 (4.000kg)	小原 恵 11.45 大高中	中西百萌佳 9.70 TSM	井並 萌彩 8.74 港南中
ABC女子	円盤投 (1.000kg)	井並 萌彩 26.42 港南中	茂手木麗華 21.53 港南中	内田 愛夕 20.63 港南中

理事会等会議報告

○3月理事会 平成31年3月25日(月) 18:00 教育会館

1. 協議事項

- 第1号議案 平成31・32年度一般財団法人愛知陸上競技協会役員(案)について
- 第2号議案 平成31年度収支予算(案)について
- 第3号議案 平成31年度事業計画(案)について
- 第4号議案 平成31年度年間行事計画について

その他

2. 報告事項

- ・各専門委員会からの報告
- ・各地区協会からの報告
- ・各協力団体からの報告
- ・その他

○4月理事会 平成31年4月17日(水) 18:00 教育会館

1. 協議事項

- ①各専門委員会の方針、及び年間計画について
- ②県選手権賞寄贈について
- ③会長表彰候補者推薦について
- ④その他

2. 報告事項

- ①マラソンフェスティバル反省について
- ②読売犬山ハーフマラソン反省について
- ③その他

○6月理事会 令和元年6月14日(金) 18:00 教育会館

1. 協議事項

- 第1号議案 平成30年度一般概要及び事業報告について
- 第2号議案 平成30年度収支決算報告について監査報告
- 第3号議案 令和元年度愛知陸協会長表彰候補者推薦について
- 第4号議案 第79回愛知陸上競技選手権大会選手権賞寄贈について

その他

2. 報告事項

- ①第62回東海陸上競技選手権大会について
- ②各専門委員会からの報告
- ③各協力団体からの報告
- ④その他

○臨時評議員会 平成31年3月25日(月) 19:00 教育会館

1. 協議事項

- 第1号議案 平成31・32年度一般財団法人愛知陸上競技協会理事・監事の選任について

その他

2. 報告事項

- ・2019年度年間競技日程について
- ・その他

○定時評議員会 令和元年6月28日(金) 18:00 教育会館

1. 協議事項

- 第1号議案 平成30年度一般概要及び事業報告について
- 第2号議案 平成30年度決算報告について  
監査報告

その他

2. 報告事項

- ①令和元年度愛知陸協会長表彰候補者推薦について
- ②第79回愛知陸上競技選手権大会選手権賞寄贈の依頼について

③第62回東海陸上競技選手権大会について

④その他

(水野 隆夫)

栄章

おめでとうございます

○愛知陸上競技協会会長表彰

令和元年7月15日(月・祝)第79回愛知陸上競技選手権大会において、表彰式が執り行なわれました。

長年の愛知陸協への貢献が認められ、表彰された方は、次の3名の方々です。

- (名古屋) 葛谷 五彦
- (西三河) 羽根田直基
- (東三河) 安藤 康俊

この式に引き続き、平成30年度日本陸連「高校優秀選手章・中学優秀選手章」が、次の2名の選手に贈られ表彰されました。

- (高校優秀選手章) 小笠原早矢楓(安城学園高)
- (中学優秀選手章) 松本佳音彩(上社中)



会長表彰のようす

(水野 隆夫)

お く や み

長年本県の陸上競技の発展のため、多大なるご尽力をいただきましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	支部名
勝亦 紘一	30・8	西三河
藤原 健	31・3	西三河

編 集 後 記

◇日本新記録の誕生など、陸上競技への関心の高まりは嬉しい限りだ。◇オリンピックやアジア大会へ向けて県内の動きも活発化してきた。◇育成・競技運営など、望ましい在り方を求めて努力を重ねたい。◇多くの寄稿に感謝。

編 集 委 員

大西 敏功	小坂 拓	鈴木人呂信	竹前 正直
茶谷 和彦	新見 精三	野口 一昭	兵藤 重二
山下ゆかり			